

# 人材バンク “魅学” プログラム例記入書

登録者名（団体名）ダンちゃん倶楽部

プログラム名	ごみから資源へ 生ごみを堆肥化する＝段ボールコンポスト		
プログラムのねらい	毎日家庭から出る生ごみを分別して段ボール箱と基材（ピートモス、もみ殻燻炭）を使って発酵させて堆肥をつくり庭や畑で肥料として使い循環型社会を目指す。		
講座名・テーマ 学習分野等	学 習 内 容 等 ( 具 体 的 に )	時間数 (分・時間)	備 考 (備品等)
生ごみを燃やさず	・家庭から出る生ごみの割合（40～60%）	45	
資源として再利用	・生ごみの80～90%は水分である。		
循環型社会を目指	・ごみの大きな減量になる。4,5人家族で大体1日の出		
す	る生ごみの量は約500g		できたら自分
	川口市の最終目標（令和17年度）家庭系ごみの排出量		の家から出た
	386g/人・日		生ごみを持参
	最終処分量 最終目標値（令和17年度）16.070t/年		川口には最終
	リサイクル率最終目標値（令和17年度）22.9%		処分場がない
	全てをクリアできる。		他市へ搬送し
	燃やさない事で生ごみが資源になる。		ている。
	1人、1人の小さな力が結集すればごみは大きく減らす		
	事が出来る。		
	実習	30	
	<用意する物>段ボール、ピートモス、もみ殻燻炭		
	防虫袋、台、包丁、まな板、生ごみ		
	① 生ごみを発酵しやすくするために刻む		
	② 段ボールに入っている基材（ピートモス、もみ殻燻炭）に混ぜるだけ。		虫の発生と対策